

外国語科 授業改善推進プラン

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

○日常で使用する基本的な単語や慣用表現の理解が高く、発声もできている。

(2) 課題

○自分の発音や理解力に自信がもてず、英語を使うことに対して不安感を感じている児童がいる。

○簡単な語句や基本的な表現を用いて正しいスペルで書くことが苦手な児童がいる。

2 観点ごとの実態・学習効果測定結果の分析

	5年	6年
知識・ 技能	・月の名前や数字、季節、天候など、日常で使用する単語は理解できている。アルファベットに触れる経験が少なく、罫線に合わせて大文字や小文字を書くことが苦手な児童が多い。	・目標値を大きく上回っている。 ・日常で使用する基本的な単語や慣用表現の理解はできている。また、アルファベットの読みと書きを正しく理解できている。「q」が書けない児童が一部いる。
思考・ 判断・ 表現	・天気や曜日など、始業時の簡単な質問に単語で答えることができる。質問されたことに、既習の表現を使って答えられる児童とそうでない児童の個人差が大きい。 ・自分のことをもっと知ってもらうために、適した内容を選択して伝えたり、話している内容が伝わっているか、聞き手の様子を見ながら話したりできる児童の個人差が大きい。	・目標値を大きく上回っている。 ・日常生活に関する対話を聞き、目的や場面、状況の判断を聞き分けることができている。例文を参考にしてスピーチをする際、簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことのできる児童が多い
主体的に 学習に取 組む態度	・英単語を使ったゲームに積極的に取り組むことができる。 ・ALTや友達と積極的にコミュニケーションをとることができる児童は限られている。	・目標値を大きく上回っている。 ・外国語活動に意欲的な児童が多い。英語に対して苦手意識を感じている児童が一部いる。

3 課題と授業の改善策

	5年	6年	
課 題	知識・ 技能	・罫線に合わせてアルファベットの文字や単語、簡単な文を書くこと。 ・単語を調べ、見ながら書くこと。 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて話すこと。	・大文字や小文字を使い分け、罫線に正しく英単語や簡単な文を書くこと。
	思考・ 判断・ 表現	・質問されたことに適切に答えられる表現を考えて、伝え合うこと。	・簡単な英会話ができると共に、簡単な英単語や文を書くこと。
	主体的に 学習に取 組む態度	・自分からALTや友達に英語で話しかけようとする事。 ・ALTの話聞いて、積極的に発音しようとする事。	・自分から教師や友達に英語で話しかけ、自信をもって発言したり表現したりすること。
授 業 の	知識・ 技能	・カードやワークシートを活用し、書く練習を繰り返し行う。 ・簡単な会話をペア学習で繰り返し練習を行う。 ・日常から英単語への意識もつ。	・曜日、天気、日付などの基本的な質問に答える機会を毎時間設け、知識の定着を図る。 ・声を出す習慣を身に付けさせるために、簡単な英単語やあいさつなど全員で声を出せる機会や個々で正しく発声できているか確認する場面を設ける。

改善策	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・話型や文型を提示し、発言の仕方や内容を繰り返し練習させ、取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話型や文型を提示し、発言の仕方や内容を繰り返し練習させ、取り組めるようにする。 ・簡単な英文を書く機会を設け、書く練習を繰り返し行う。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・担任も児童に積極的に英語で話しかけ、英語で話すことへの抵抗感を減らして学習に臨めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで活動する場面を増やし、安心して英語表現に取り組める場を設ける。 ・より英語が身近に感じられ、すすんで表現することができるように、担任も意識して英語で話しかけるようにする。